

平成22年3月期第2四半期

会社説明資料

平成21年12月



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

(JASDAQ・5939)

会社のプロフィール

商号	株式会社大谷工業 OTANI KOGYO CO.,LTD.
本社	〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目22番17号
代表者	代表取締役社長 芝崎安宏
設立	昭和22年6月30日
資本金	6億5,520万円
売上高	2,519百万円(22年3月期第2四半期)
従業員	178名(21年9月30日現在)

会社の沿革

昭和21年2月	当社の前身、大谷重工業株式会社富山支社小杉製作所として創業
昭和22年6月	株式会社大谷工業小杉製作所として設立
昭和29年5月	社名を大谷工業株式会社と改称し、小杉研砥工業株式会社を吸収合併
昭和45年10月	本社を東京都品川区西五反田7丁目22番17号T0Cビル内に移転
昭和60年7月	鹿沼工場 頭付きスタッドのJIS規格認可
昭和63年3月	鹿沼工場 六角ボルト・六角ナットのJIS規格認可
昭和63年10月	富山工場 溶融亜鉛めっき加工技術JIS規格認可
昭和63年11月	日本証券業協会へ店頭登録
平成元年7月	本社を東京都品川区北品川5丁目4番14号T0C北品川ビルに移転
平成元年9月	櫻井鐵工株式会社を合併し、社名を大谷櫻井鐵工株式会社と改称
平成8年9月	本社を東京都品川区西五反田7丁目22番17号T0Cビル内に移転
平成8年10月	社名を株式会社大谷工業と改称
平成11年6月	鹿沼工場 ISO9001認証取得
平成11年9月	富山工場 ISO9001認証取得
平成16年4月	環境関連製品販売を開始
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場

事業内容

- ・配電・通信線用架線金物、CATV・防災無線用金物、鋏螺の製造・販売
- ・送電用・無線用鉄塔、屋外鉄構、架台、フェンスの設計・製造・販売
- ・スタッドの製造・販売・施工
- ・溶融亜鉛めっき加工



平成22年3月期第2四半期

決算概要



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

平成22年3月期第2四半期の総括

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、世界規模の景気後退に底打ち感はあるものの、依然として設備投資等の企業活動が停滞しており先行き不透明な状況にあります。

当社の主要取引先である電力業界は大口需要の減少、さらに冷夏の影響により今期の電力需要が落込んでいることから、設備投資抑制を継続しております。通信業界も、光アクセスサービス加入者数が伸び悩んでおり次世代ネットワーク関連等の設備投資は抑制傾向にあります。

また、建設業界は世界同時不況の影響が顕著に現れ、建築業界全体の工事量が大幅に減少しました。

当社はこのような状況下、各事業で拡販に努めましたが当第2四半期累計期間の売上高は2,519百万円と前年同期比172百万円(△6.4%)の減少となりました。

利益面につきましては、原材料価格が低下傾向にあること、諸経費の節減、採算管理を徹底し、売上総利益は564百万円と前年同期比(4.2%)の増加、営業利益は158百万円と前年同期比34百万円(27.7%)の増加、経常利益は166百万円と前年同期比22百万円(15.4%)の増加となりました。

四半期純利益は111百万円と前年同期比24百万円(27.6%)の増加となりました。

事業分野別の詳細は品目別売上高のページをご参照ください。

損益計算書(非連結)

(単位:百万円)

	22年3月期第2四半期 (累計期間)	21年3月期第2四半期 (累計期間)	前期比	備考
売上高	2,519	2,692	-6.4%	電力新規鉄塔受注の減少 建築業界工事量の大幅減
売上原価	1,954	2,150	-9.1%	原材料価格の低下傾向 採算管理の徹底
一般管理費	406	418	-2.8%	諸経費の節減、
営業利益	158	123	27.7%	
営業外収益	21	36	-41.6%	
営業外費用	13	16	-19.7%	
経常利益	166	144	15.4%	
特別利益	1.7	1.5	15.8%	
特別損失	2.3	1.3	83.2%	
第2四半期(累計)純利益	111	87	27.6%	

貸借対照表(非連結)

(単位：百万円)	22年3月期第2四半期 (累計期間)	21年3月期第2四半期 (累計期間)	増減	備考
流動資産	2,754	2,849	-95	売上減少による売上債権の減 在庫の圧縮
固定資産	1,431	1,524	-93	
資産合計	4,186	4,374	-188	
流動負債	2,326	2,358	-32	原材料抑制による仕入債務減
固定負債	570	879	-309	長期借入金を1年内長期借入金へ 移動
負債合計	2,896	3,238	-342	
資本金	655	655	0	
資本剰余金	221	221	0	
利益剰余金	407	242	165	四半期純利益111百万円 剰余金配当21百万円
純資産合計	1,289	1,136	153	

キャッシュ・フロー計算書(非連結)

(単位：百万円)

	22年3月期第2四半期 (累計期間)	21年3月期第2四半期 (累計期間)	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	106	133	△ 27	税引前四半期純利益166百万
投資活動による キャッシュ・フロー	28	△ 40	68	
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 34	△ 61	27	配当金支払21百万円
現金及び現金同等物の 増加額	100	31	69	
現金及び現金同等物の 期首残高	299	441	△ 142	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	399	473	△ 74	

品目別売上高

(単位：百万円)

セグメント	22年3月期第2四半期 (累計期間)		21年3月期第2四半期 (累計期間)		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
架線金物	1,339	53.2%	1,354	50.3%	△ 15	△ 1.1
鉄塔・鉄構	545	21.7%	634	23.6%	△ 89	△ 14.1
スタッド	606	24.0%	654	24.3%	△ 48	△ 7.3
その他	27	1.1%	47	1.8%	△ 20	△ 42.7
合計	2,519	100.0%	2,692	100.0%	△ 172	△ 6.4

架線金物	電力の設備投資抑制方針の継続
鉄塔・鉄構	電力の新規鉄塔受注減少、通信鉄塔も整備が一巡
スタッド	金融危機の影響による工事量の大幅な減少、関東地区での価格競争の激化
その他	

平成22年3月期

業績予想



株式会社 大谷工業

OTANI KOGYO CO., LTD.

平成22年3月期 業績予想(非連結)

(単位：百万円)	22年3月期予想	21年3月期実績	増減
売上高	5,350	5,551	-3.6%
経常利益	250	286	-12.8%
当期純利益	150	162	-7.5%
EPS (円)	17円05銭	18円44銭	-
ROE (%)	-	14.3	-

経営方針

・会社の経営の基本方針

当社は昭和21年の創業以来、豊富な知識・高度な技術で鉄に生命の息吹を与え「豊かな社会を築きあげる」ことを理念しております。本邦において基幹インフラ(電力・通信業等)の一翼を担っているとの矜持を忘れず、固有の技術と最新テクノロジーの融和をはかり「安心・安全・高品質」な製品をお届けする「社会に継続していく意義のある企業」として貢献し続けたいと念願しております。

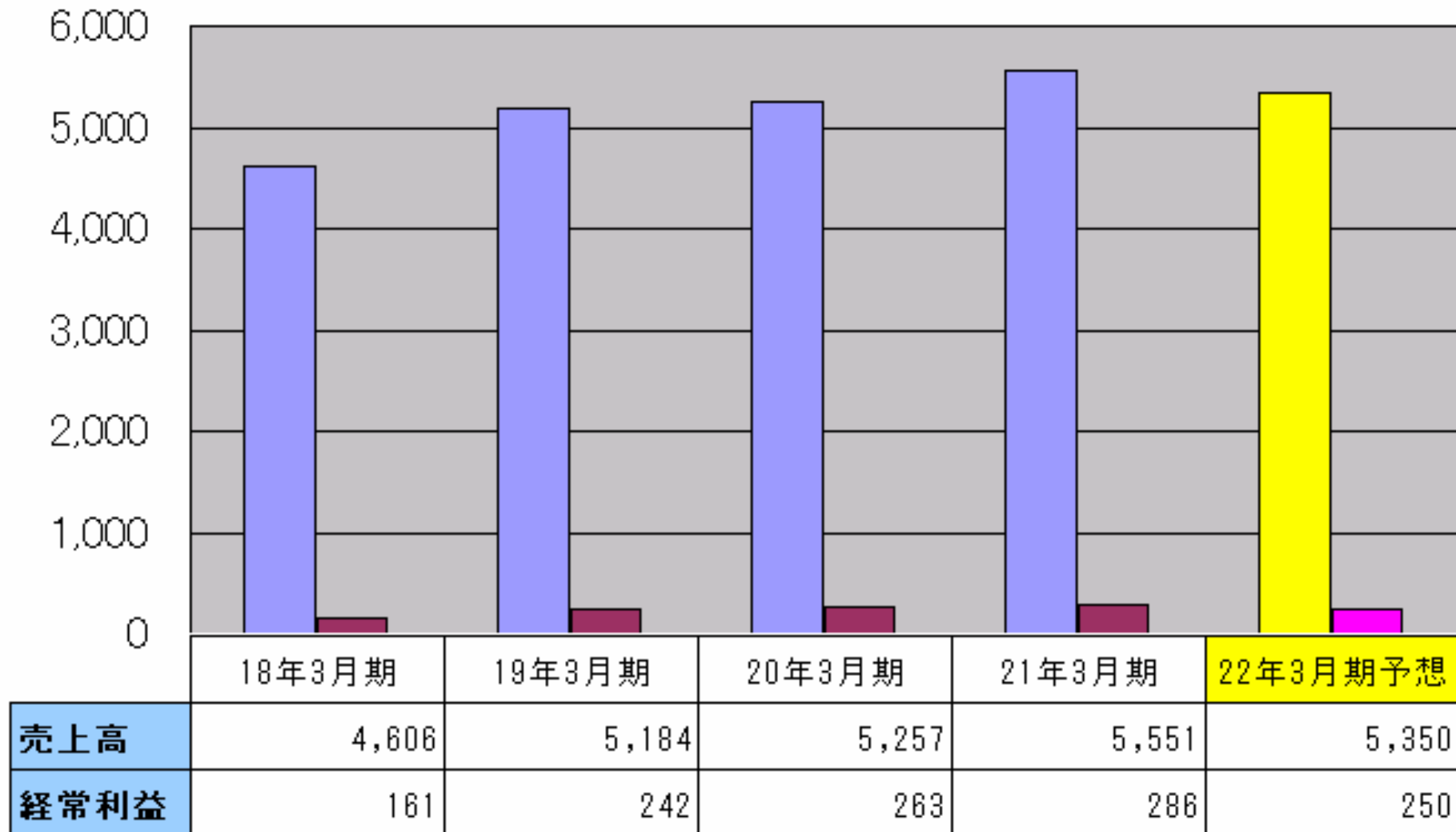
・目標とする経営指標

当社は、每期、安定的な利益を継続的に確保するとともに、株主利益の重視と経営の効率化の視点から、ROA(総資本利益率)並びにROE(株主資本利益率)の向上に努力してまいります。

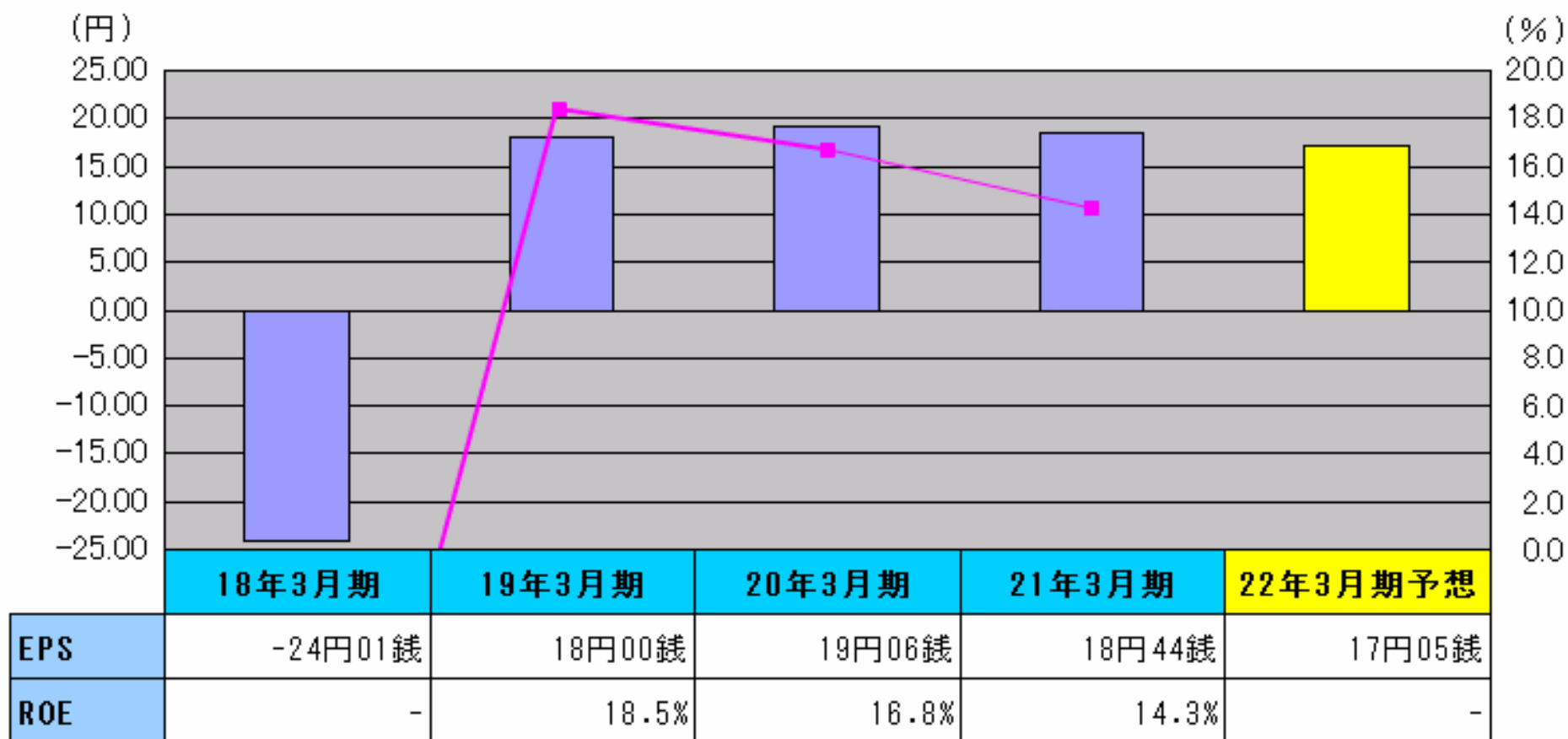
・中長期的な会社の経営戦略

既存の架線金物・鉄塔に次ぐ製品を開発し、架線金物業界において専門性・独自性を発揮するリーディングカンパニーを目指します。

売上高・経常利益の推移(非連結)



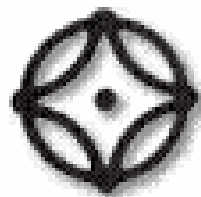
EPS・ROEの推移(非連結)



EPS = 1株当たり当期純利益

ROE = 自己資本利益率

本資料に関するお問い合わせ



株式会社 大谷工業

総務チーム

TEL : (03) 3494-3731

E-mail: somu@otanikogyo.com